



# 平成 28 年度東京湾環境一斉調査の結果概要

## 1. 実施内容

### (1) 水質調査

- ・実施日 平成 28 年 8 月 3 日（基準日）を含む数日間
- ・調査内容 東京湾及び流域河川における水質調査（調査項目は下記のとおり）  
【海域】水温、塩分、溶存酸素量（DO）、化学的酸素要求量（COD）、透視度  
【陸域】水温、化学的酸素要求量（COD）、流量、溶存酸素量（DO）、透視度
- ・参加機関数 142 機関

### (2) 生物調査

- ・実施期間 平成 28 年 5 月～10 月
- ・調査内容 魚類、底生生物、プランクトン等の観測
- ・参加機関数 13 機関
- ・生物調査結果、データ報告数 12 件

### (3) 環境啓発活動等のイベントの実施

- ・実施期間 平成 28 年 6 月～8 月
- ・活動内容 水質改善等に関する普及啓発活動などのイベントの実施
- ・参加機関 10 機関
- ・イベントの実施件数 12 件

## 2. 水質調査の結果

### (1) 実施地点数 海域 226 地点 河川等 382 地点 計 608 地点

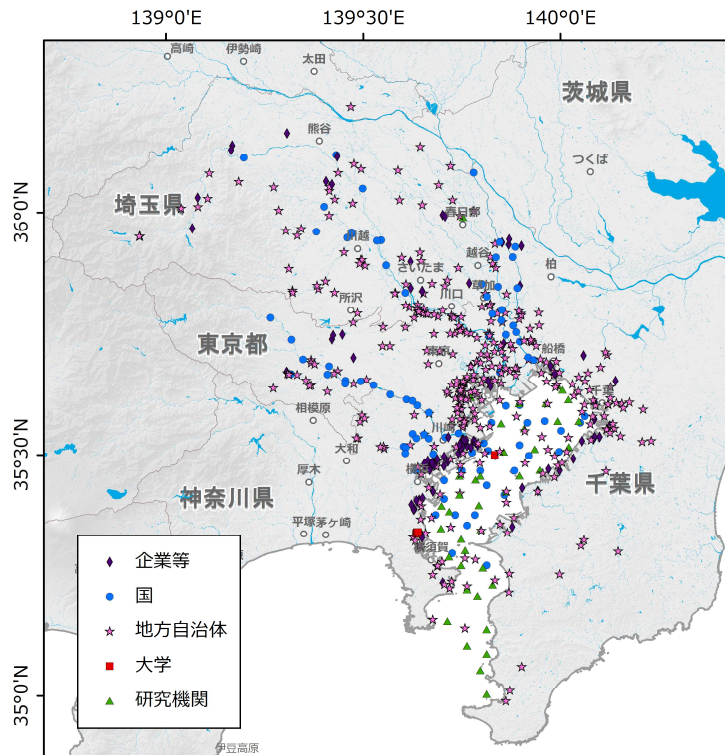


図 1 環境調査地点（流域全体）



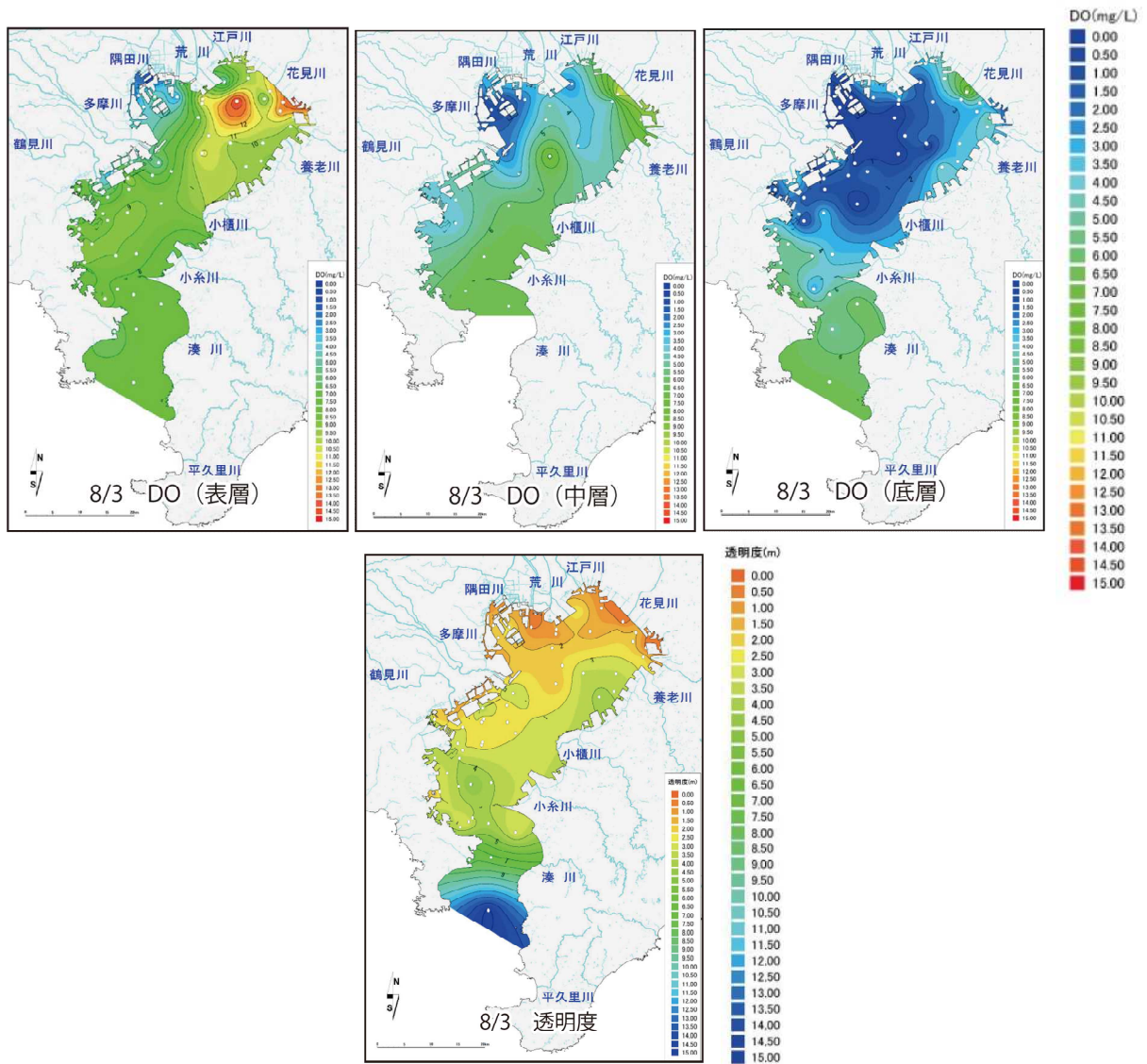


図2 水温・塩分・DO・透明度の状況

### 3. 参考

【平成28年度東京湾環境一斉調査報告書掲載URL】

[http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB\\_Renaissance/Monitoring/General\\_survey/index.htm](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/Monitoring/General_survey/index.htm) (東京湾再生推進会議ホームページ)

#### 問い合わせ先

- 東京湾再生推進会議モニタリング分科会事務局  
海上保安庁海洋情報部環境調査課  
鈴木（すずき）・松坂（まつさか）・久米（くめ） 03-3595-3635
- 環境省水・大気環境局水環境課閉鎖性海域対策室  
中西（なかにし） 03-5521-8319
- 九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会事務局  
横浜市環境創造局環境保全部水・土壌環境課  
吉田（よしだ）・須崎（すざき） 045-671-2489
- 東京湾岸自治体環境保全会議事務局  
千葉県環境生活部水質保全課  
原（はら） 043-223-3816
- 東京湾再生官民連携フォーラムモニタリングの推進プロジェクトチーム  
古川（ふるかわ） 03-5157-5235

## 参考

### ○「東京湾再生推進会議」

平成13年12月に都市再生本部の都市再生プロジェクト（第三次決定）として、水質汚濁が慢性化している大都市圏の「海の再生」を図ることとされたことを受け、平成14年2月に関係省庁及び関係地方公共団体を構成員として設置された。平成15年3月に策定された「東京湾再生のための行動計画」については、平成25年5月に本行動計画の期末評価を実施した。また、平成25年からの「東京湾再生のための行動計画（第二期）」を策定し、引き続き取組を進めている。

なお、推進会議の下部機関として「幹事会」、「陸域対策分科会」、「海域対策分科会」、「モニタリング分科会」が設けられている。

### ○「九都県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会」

平成元年6月の「首都圏環境宣言」を踏まえ、九都県市※（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県及び横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市）が協調して取り組むべき方策を検討するため、平成元年11月に環境問題対策委員会のもとに設置された。東京湾の水質改善に係る下水道の整備、富栄養化対策等に関する事項の調査、検討、情報交換等を行っている。

※ 平成元年当時は六都県市（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県及び横浜市・川崎市）

### ○「東京湾岸自治体環境保全会議」

昭和48年6月に開催された「東京湾を囲む都市の公害対策会議」において東京湾の環境保全と広域的対策を図るための早急な機構整備の必要性が提案されたことを機に、昭和50年8月に設立された。東京湾岸に面する1都2県16市1町6特別区の26自治体で構成され、住民への環境保全に係る啓発や、連带的・統一的な環境行政の推進を目的に湾岸地域の環境保全に取り組んでいる。

### ○「東京湾再生官民連携フォーラム」

「東京湾再生のための行動計画（第二期）」では、多様な関係者の参画による議論や行動の活発化・多様化を図るための組織の設立が掲げられた。このことから、平成25年11月に「東京湾再生官民連携フォーラム（以下「フォーラム」という）」が設立された。

フォーラムでは、東京湾再生に意欲を持つ多様な人々が集い、現状や課題を理解・共有し、共に解決策を模索し、東京湾の魅力を発掘・創出・発信すること等により、東京湾再生の輪を拡げる活動に取り組むこと、そうした活動から育成・醸成された多様な関係者の多様な意見を尊重しつつ総意をとりまとめ、「東京湾再生推進会議」へ提案する役割が期待されている。現在までに「東京湾環境モニタリングの推進プロジェクトチーム」を含め9つのプロジェクトチームが立ち上がっている。